

FIXLX アクリルフォーム両面テープ

FS-T011

■特徴

- ・接着力が高く、耐熱性、耐久性に優れています。
- ・各種金属、プラスチック等に超強力接合。
- ・レーザー加工機による切断、切り抜き等が可能です。
- ・柔軟性があり、外部環境からの物理的衝撃を吸収します。
- ・破れにくいPEセパの為、セパレートを剥がす際にストレスなく施工が可能です。

■製品特性

サイズ : 0.4mm厚
19mm×11m、25mm×11m、300mm×11m、1020mm×11m
19mm×30m、25mm×30m、1020mm×30m

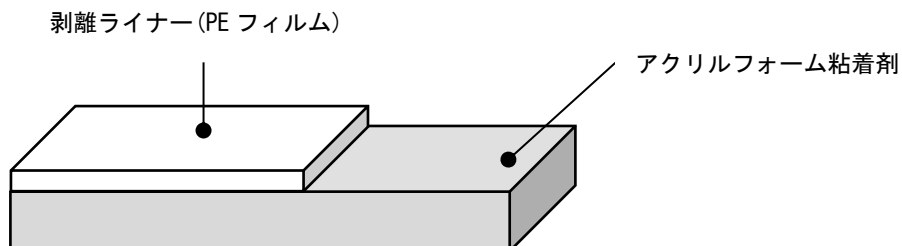
0.8mm厚
19mm×11m、25mm×11m、300mm×11m、1020mm×11m
19mm×30m、25mm×30m、1020mm×30m

基材 : アクリルフォーム (グレー)

粘着剤 : アクリル系

コア : 3インチ

【構成】



【せん断接着力】

| 項目 | 0.4mm厚 | 0.8mm厚 | 測定方法 |
|--------------------------------|--------|--------|--|
| せん断接着力 (N/cm ²) | 205 | 127 | SUS304 BA 5kgローラー1往復圧着 引張速度 50mm/min 室温72時間養生 |

【90° 方向剥離力 (N/cm)】

| 被着体 | 0.4mm厚 | 0.8mm厚 | 測定方法 |
|------------|--------|--------|--|
| アルミ複合板 | 13 | 22 | 5kgローラー1往復圧着 引張速度 300mm/min 室温72時間養生 |
| SUS | 15 | 23 | |
| アルミ | 21 | 26 | |
| ガラス | 19 | 31 | |
| アクリル | 8 | 19 | |
| PVC | 10 | 16 | |
| PET | 8 | 13 | |
| 木材 | 21 | 30 | |
| コンクリートブロック | 13 | 19 | |
| レンガ | 13 | 20 | |

※上記数値は当社試験結果に基づく測定値であり、保証値ではありません。

■ご使用に際しての注意事項

【保管方法、使用期間】

- ・保管は、高温・低温・多湿や直射日光・至近距離からの蛍光灯照射などを避け、風通しの良い冷暗所で保管してください。
- ・保管方法、保管環境によっては粘着力、保持力の変化が起きる場合があります。
- ・推奨保管環境：温度15～25℃、湿度70%RH以下
- ・購入後は半年以内にご使用ください。また開封後は3ヶ月以内を目安に、できるだけ早くご使用ください。

【取り扱い】

- ・製品表面を直接手で触れないよう手袋を着用のうえ、ご使用ください。
- ・水分、薬品などがつかないようにし、衝撃は避けてください。
- ・皮脂、油分、汚れ、傷などが接着不良の原因となる場合があります。
- ・使用後は速やかに元の包材に入れ、推奨の保管方法にて保管してください。

【使用方法】

- ・施工する場合は、被着体のゴミ、錆、油分等を取り除いてください。
- ・本来の性能を発揮させるためには、十分に圧着及び養生してください。
推奨圧荷重：1cm²あたり50N以上　推奨養生期間：室温72時間以上
- ・結露しやすい被着体や被着体の特性によっては十分な接着力が得られない場合があります。
- ・接着力その他物性は、被着体の特性・養生条件・施工方法・施工環境などによって異なります。使用前には現物にて十分な評価を行った上、ご使用ください。

■免責事項

以下の事項については責任を負いかねます。

- ・お客様の加工によって生じた機械や製品の不具合。
- ・施工後に生じた被着体及び製品の不具合。

- * 製品についてご不明な点などございましたら、お問い合わせください。
- * 本書は、本製品に関する製品情報及び環境安全に関わる情報を提供するものであり、性能や品質を保証するものではありません。
- * 製品の仕様および外観は改良のため予告なく変更させていただくことがあります。
- * 使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任も全て負うものとします。
- * 売り主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。
- * 本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売り主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限りは当社は責任を負いません。



PLASTICS & BUILD MATERIALS

藤田産業株式会社

FUJITA INDUSTRY co.,Ltd.

初版 2021年12月発行
第1.6版 2026年 1月発行